

27Q-pm054

ポートフォリオによる学びのふり回り：全学年にわたるヒューマンズ教育
○石川 さと子¹, 飯島 史朗¹, 江原 吉博¹, 小林 静子¹(¹慶應大薬)

【目的】本学では患者の気持ちを理解し、医療へ貢献する薬剤師を育成するために、低学年におけるヒューマンズ教育を展開している。しかし、物質である薬に関する教育が混在し、実務実習を行う際には低学年での学習効果が薄れる可能性がある。このため、学びをふり回すためのツールとしてITを活用し、学習開始時のモチベーションを維持可能なシステムを構築することを目的とした。

【方法】学習支援システムを導入し、掲示板等でのディスカッション内容を含めた、学習のデジタルデータをシステム上に蓄積した。紙媒体で提出したレポートなどはスキャナで取り込み、個々の学生のフォルダに登録可能とした。これらの蓄積されたデータを検索、整理分類を可能とし、ふり回りを促すようなポートフォリオシステムとして学習履歴サイトを新たに開発し、卒業時まで参照可能とした。さらに、学生が自分の目標を定め、常にその目標・学びの軌跡を評価、修正しながら自らの成長を確認できる機能も追加した。

【結果】ポートフォリオは、「長時間にわたり」、「全体をとらえた」、「プロセスを重視した」学習を可能とする。学生は、ポートフォリオを参照すれば、過去の学習内容、自分自身がたてた目標を見直すことができ、ヒューマンズムの原点をふり回すきっかけになるようにシステムを工夫している。将来薬剤師となっても、学習当時のモチベーションを維持することが期待される。

【今後の課題】このシステムの効果判定は、学生がどれだけ積極的にアクセスするかにかかっている。今後、自己のポートフォリオを定期的に確認するようなコンテンツを準備し、ポートフォリオのサイト参照を促進する必要がある。

※本発表は文部科学省医療人GP支援で行った。www.pha.keio.ac.jp/gp/iryojin.html